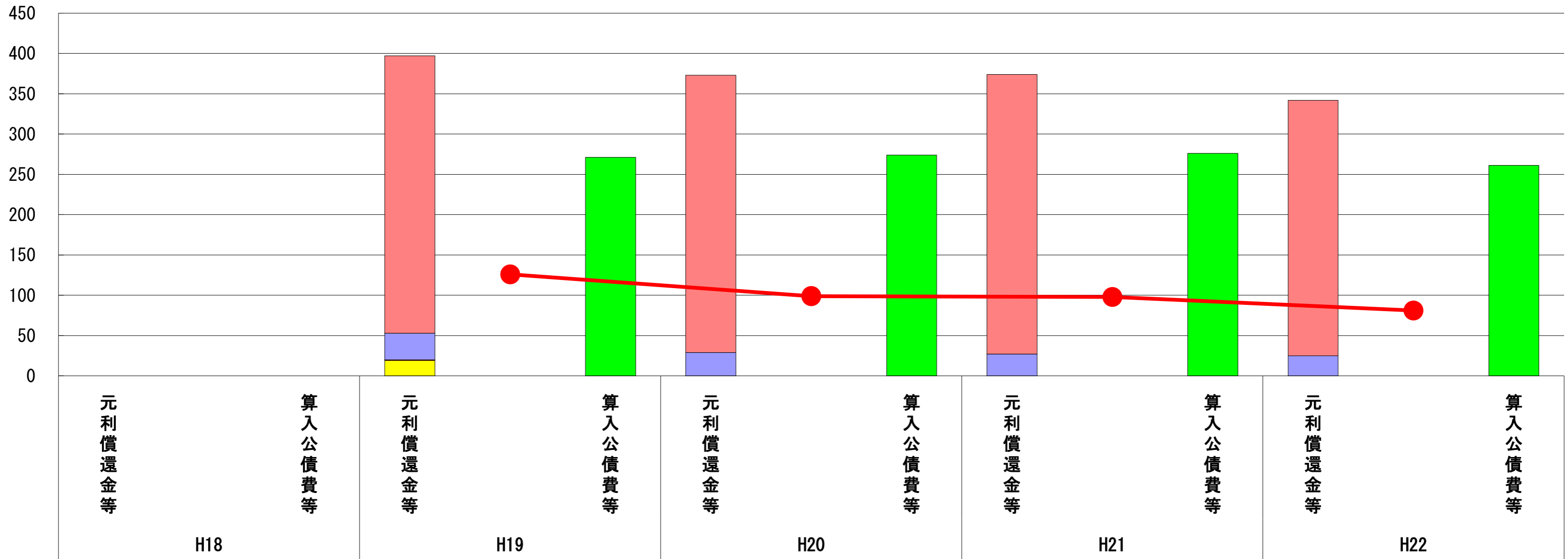


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

北海道音威子府村

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等(A)	元利償還金		-	344	344	347	317
	積立不足額考慮算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		-	33	29	27	25
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	1	0	0	-
	債務負担行為に基づく支出額		-	19	0	0	-
	一時借入金利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		-	271	274	276	261
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		-	126	99	98	81

分析欄

起債償還のピークが過ぎ、実質公債費比率分子の数字も減少傾向となっている。今後も大規模な起債借り入れも無く、同水準で推移していくものと考えられる。

※平成17年度と平成18年度において、元利償還金とは充当可能特定財源の額を控除した後の額であり、満期一括償還地方債に係る年度割相当額とは積立不足額考慮算定額を含んだ額である。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。